

科目名称	英文法基礎Ⅱ					ビジネス・キャリア	(○)	オフィス情報	()
英文科目名称	Basic English Grammar Ⅱ					グローバル・コミュニケーション	(○)	医療事務・医療秘書	()
科目コード	590093	授業形態	演習	単位数	2	ホテル・観光	(○)	大学編入	(○)
教員氏名	水島 孝司		年次配当	1 年次	後期				
実務経験教員担当	有 ・ ②		アクティブラーニング			②	有	無	
授 業 概 要 及 び 授 業 方 法	この授業の目的は、大学生の日常のコミュニケーションに役立つ英語を学びながら、英文法・語法の基礎知識を確実に身につけるのを支援することである。授業で扱う文法項目の大半は英検3級レベルのものであるが、語彙や英語で表現する内容は大学レベルのものが中心となる。第8回以降の授業では毎回、学生の1分程度の英語スピーチで始める。原則として、教科書は1回の授業で1ユニットをこなす。この授業は英文法・語法の基礎を「音声を何度も聞いて、リピートして、書いて」、また「失敗を恐れずに人前で英語を使って」マスターしたいと思う学生に受講してほしい。								
関 連 す る 科 目	英文法基礎Ⅰ					卒業認定(学習成果)との関連		①, ②, ③, ④	
授 業 計 画	1. オリエンテーション(授業の進め方、評価方法、英語スピーキングテストなどに関する説明など) 2. 教科書Unit 13(名詞・冠詞) 3. 教科書Unit 14(代名詞) 4. 教科書Unit 15(前置詞) 5. 教科書Unit 16(形容詞) 6. 教科書Unit 17(副詞) 7. 英語スピーキングテスト *個別に実施 8. 学生のスピーチ 教科書Unit 18(比較-1) 9. 学生のスピーチ 教科書Unit 19(比較-2) 10. 学生のスピーチ 教科書Unit 20(接続詞) 11. 学生のスピーチ 教科書Unit 21(受け身) 12. 学生のスピーチ 教科書Unit 22(不定詞) 13. 学生のスピーチ 教科書Unit 23(動名詞) 14. 学生のスピーチ 教科書Unit 24(分詞) 15. 教科書Unit 25(現在完了)、まとめ								
授 業 時 間 外 の 学 習	・意味や発音の分からない単語・熟語を辞書で調べる。 ・教科書の「解説」ページを読んでもよく理解できない文法項目を、中高で使った文法書などで調べる。 ・教科書の英文と語句をCDで聞いて、「速く」「正確に」書けるように練習する。 ・1分程度のスピーチの7割以上を原稿を見ないで話せるように練習する。 (学習に係る標準時間は週約90分)								
授 業 の 到 達 目 標	・英検準2級合格に必要な英文法・語法の基礎知識を身につける。 ・教科書のExpressionsにある日本語を素早く英語に直すことができる。 ・授業で学んだ英語の一部を日常会話や英文メールなどで使うことができる。								
課 題 に 対 す る フ ィ ー ド バ ッ ク	スピーチの内容と、英語表現レポートにコメントする。					評価方法・基準		期末試験(35点)、英語スピーキングテスト(15点)、英語スピーチ(10点)、英語表現レポート(20点)、参加度(10点)、自己評価(10点)	
テ キ ス ト	『大学生のためのコミュニケーション英文法(改訂3版)』(水島孝司、Roger Pattimore著、2018年、南雲堂)								
参 考 書	授業中に適宜指示する。								
備 考	・「音声を何度も聞いて、リピートして、書いて」英語の基礎力を強化したいと思うだけでなく、それを毎週確実に実行する意志のある学生に受講してもらいたい。 ・英検2級に合格している学生、および短大入学時のプレースメントテストで英検2級程度以上の英語力があると判断された学生の受講は原則として認めない。								